

ある。管理は農業公社に委託しており、利便性が高いところは定員に達していると聞いている。

子育て

産後ケア事業 187万円

問 当初予算から倍以上の増額になっているが、理由は。

答 支援できる条件を緩和し、希望者全員に支援できるようになった。加えて、医療機関において産後ケアを行なう施設が増えたこと、助産院が増えて助産師会の訪問型サポート等が利用しやすくなったことなどにより、希望者が増えた。令和2年から始めているが、令和2年2名、3年6名、4年13名、5年65名が利用している。

少年少女教室・おもしろ科学教室 11万円

問 参加者から楽しかったと声が上がっているが、事業費が前年度に比べ30万円ほど減っている。開催回数は減っているのか。

答 教室は講師への謝金が発生するものではないものがある。県の職員が講師であれば無料になり、材料費・教材費によっても金額が変わる。講座の回数は例年並みである。

地域防災計画改訂事業

413万円

問 地域防災計画の改訂内容は。

答 最後の改訂は平成30年に行われ、今回、総合的かつ計画的な防災行政の整備などを定める計画への改訂に至った。令和元年、台風19号を受けて災害対策基本法が改正されたことや、国や県との計画との整合性を図るため、災害対策の現状に即した内容に改訂を行った。

まちづくり

新産業団地構想調査事業

1186万円

問 (仮称) 東部工業団地北東地区について、工業団地の拡張事業を具体化するための土地利用計画案作成の予算額を全額令和6年度に繰越した理由は何か。

答 計画地内にある調整池の設計計画(案)を検討するため工期を延期し、次年度に繰越したものである。

問 造成工事が完了するのはいつ頃か。

答 仮に採算が取れるということでの事業が実施できれば、令和12年度の市街化区域編入を目指す。過去の事例を参考にすると、令和15年度には造成工事が完成する見込み



大好評だった「おもしろ科学教室 食塩水で虹をつくろう！」

経済産業・農業

被災農業者向け復旧支援事業

663万円

問 補助金を交付した11経営体の内訳は。

答 降ひよう被害を受けた施設園芸農家に鉄骨パイプ、パイプハウスのフィルム張替えに要した費用を補助した。個人10名、法人1名である。

問 各個人で申請したものを、審査したのか。事前相談を行い、適切な審査を行った。

である。

歴史・文化

郷土芸能保存活動事業

100万円

問 「玉村ひるびとわくわくスタンプラリー」とは、どのようなものか。

答 お祭り会場にスタンプを置き、来た人たちに押ししてもらい、各お祭りのスタンプを集めると、スタンプ数に応じて歴史資料館



玉村八幡宮に設置されたスタンプ台

道の駅玉村宿 270万円

問 道の駅玉村宿は、東京・信越方面へつながるスマートインターチェンジに近接するなど立地条件に恵まれている。道の駅玉村宿をもっとアピールするための支援策はないか。

答 道の駅玉村宿は駐車場が拡充されたところである(PS3参照)。指定管理者と一緒に、高崎市側の商業施設との差別化を図っていく。また、道の駅南側に観光交流拠点となる新設公園の整備を検討していることから、この事業とも連携し、ゾーンとして魅力度を高める検討もしていきたい。

交通・防災

交通指導員 297万円

問 指導員謝金及び補助金の内訳は。

答 玉村町交通指導隊として25名で組織されている。隊長1名12万円、副隊長2名10万円、班長9・5万円、隊員9万円(各々年額)が謝金として支払われ、交通安全イベントに参加した場合、出動手当1日当たり1000円が補助金として支給される。なお、小学校区毎に班長1名、隊員4名で組織されている。

で景品がもらえる。自分の地区のお祭りだけでなく、行ったことのないお祭りにも行ってもらい、お祭りに行く機会を増やすことを目的に実施した。

財政

経常収支比率

問 経常収支比率が10%以上、上昇しているが、給食費無償化の影響があるのでは。

答 給食費無償化の影響は0・7%、約5700万円になる。経常収支比率の上昇の大きな原因は、令和5年度法人町民税が4億円以上減少、また、地方交付税および臨時財政対策債が減少したことにより、計算時の分母になる経常一般財源自体が減少したためである。

地域福祉基金 112万円

問 積立総額が9111万円と多額になっている。どのような目的の基金であるか。

答 高齢者、障害者及び児童の保健福祉の向上を図る事業に充てることになっている。現在は、「お元氣ですか訪問事業」に充てている。今後、目的の範囲内で積極的に活用を図っていききたい。